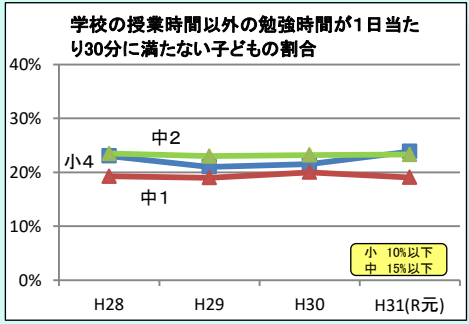
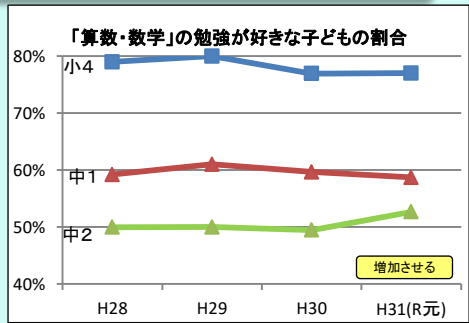
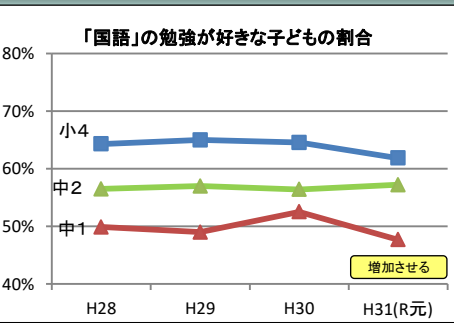
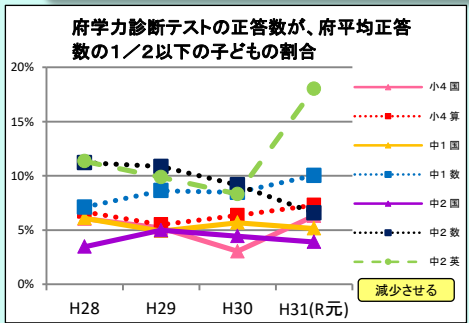


# 管内の児童・生徒の様子

## 京都府学力診断テストでみる「京都府教育振興プラン」の目標指標の管内状況



### 質の高い学力をはぐくむ

**<状況>**

- どの学年においても一定数の「府平均正答数の1/2以下の子ども」が存在します。
- 「国語が好き」と回答する割合は、特に中1で低くなっています。
- 「算数・数学が好き」と回答する割合は、学年が上がるにつれて低くなっています。
- 「家庭での学習時間が30分に満たない子ども」の割合については、目標に到達しない状況が続いています。

**<課題解決に向けて>**

- 基礎学力定着の取組や授業改善を一層推進していくことが大切です。
- 教科の魅力伝える授業、教科の学習の有用性を実感させる取組が求められています。
- 家庭学習を充実させる組織的な取組の推進が一層必要です。

### 豊かでたくましい心と体をはぐくむ

**<状況>**

- 「自分にはよいところがある」と回答する割合は、少しずつ増加しています。
- 「読書量が10分に満たない子ども」の割合については、増加傾向にあります。
- 「50m走、握力、ボール投げ」の記録は、全体的に下降傾向です。中でも「中3男子」が大きく下がっています。

**<課題解決に向けて>**

- 読書活動を充実させる取組の推進が一層必要です。
- 学校・家庭・地域など様々な場で、楽しみながら体を動かす機会を増やす取組や健康的な生活習慣の確立に向けた取組をより充実させることが必要です。

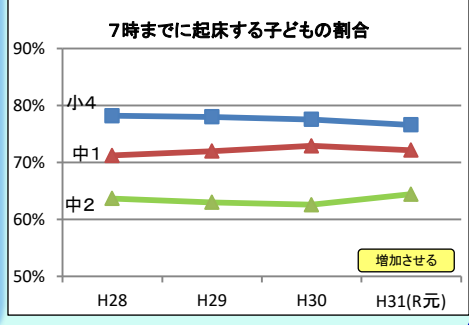
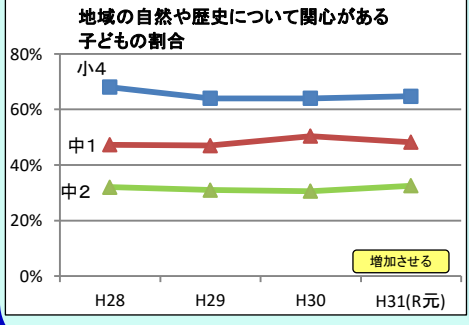
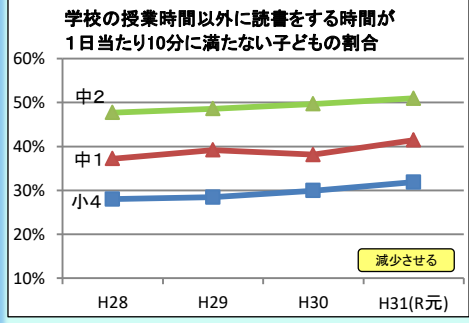
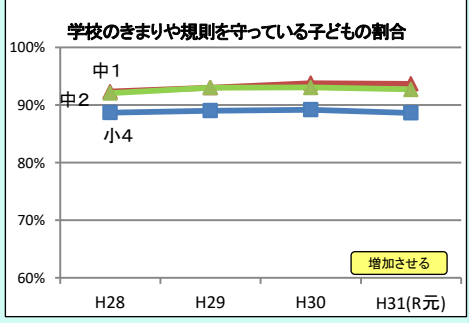
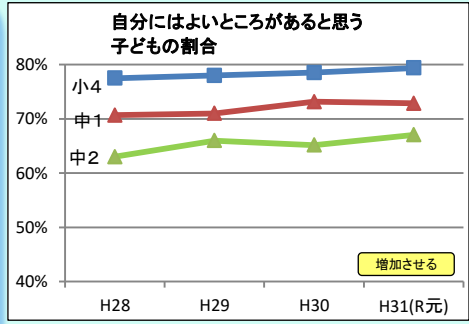
### 地域に誇りを持つ子どもをはぐくむ

**<状況>**

- 学年が上がるにつれて地域への関心が低くなっています。

**<課題解決に向けて>**

- 学校・家庭・地域がつながることで、地域への関心を高め、子どもたちの社会への参加を促していくと考えられます。



## 京都府新体力テスト調査でみる「京都府教育振興プラン」の目標指標の管内状況

※ 新体力テストの全国平均値(50)を基準にして、管内平均値から求めた偏差値

